

4 - 15 三河における地殻変動観測 (1974 ~ 1981)

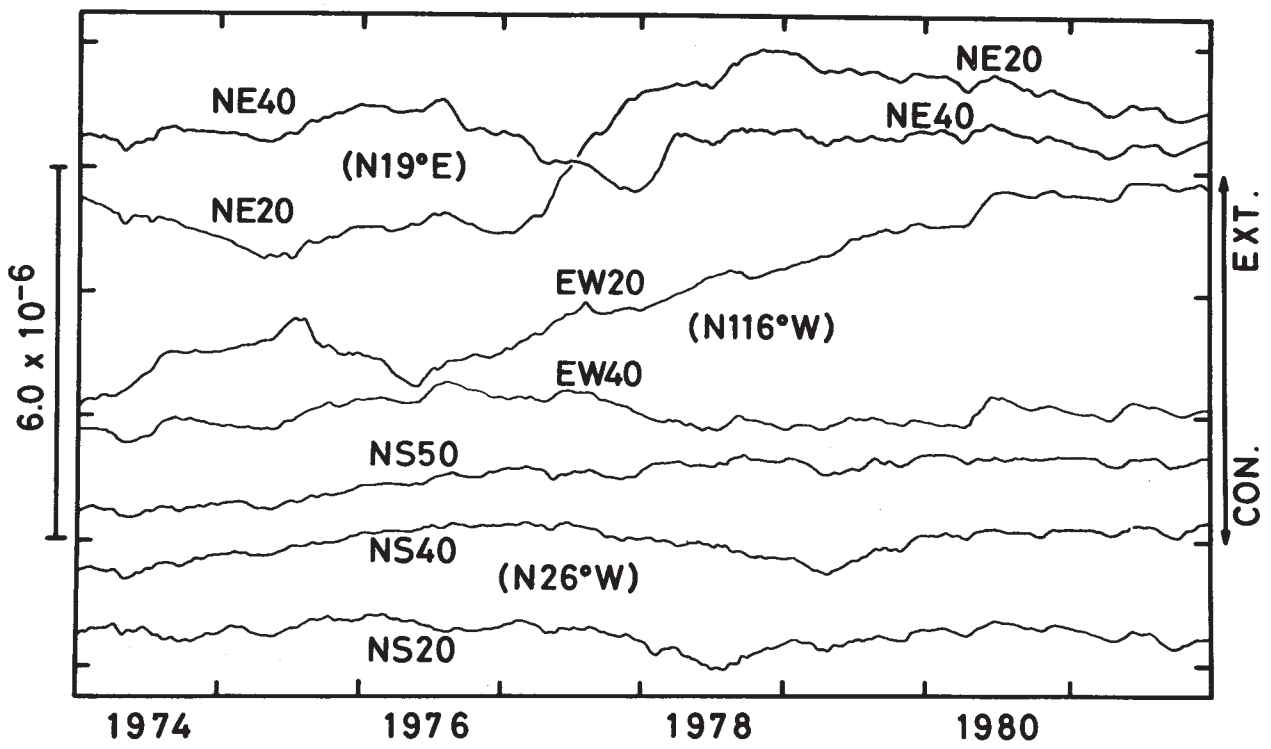
Crustal Strain Observations at Mikawa (1974 -1981). (Nagoya Univ.)

名古屋大学理学部 三河地殻変動観測所
Mikawa Crustal Movement Observatory
School of Science, Nagoya University

三河地殻変動観測所における1979年までの伸縮変化については前報で報告した。¹⁾第1図は前報と同様に伸縮変化(1981年12月まで)から3段のタンクモデルを用いて降雨の影響を除去した結果である。すでに報告したように3成分ともに20mの変化と40m(または50m)の伸縮変化はあまり似ていない。しかし、1979年頃から3成分ともに細かい変動が共通に現われるようになった。三河地殻変動観測所の南方5kmの地点で続けている光波測距儀(6BL)による辺長測量の結果²⁾によると、北西-南東方向の基線は1979年頃に縮みから伸びに転じている。観測抗付近に作用する広域的な応力が変化した結果、3成分の伸縮計に細かい変動が共通に現われるようになったのかも知れない。このことに関しては資料の蓄積を待って詳しい考察を試みたい。

参 考 文 献

- 1) 名古屋大学理学部三河地殻変動観測所：三河における地殻変動観測(1974~1979)，連絡会報, **24**, 167 - 168.
- 2) 名古屋大学理学部地震予知観測地域センター：光波測量による東海地域の辺長測量。(1977 - 1981)，連絡会報, **27**(1982), 201 - 203



第1図 三河における伸縮変化

Fig. 1 Variation of the extensometer readings at Mikawa.